



酒匂の清流

5月も後半に入り、日差しの強さを感じる陽気となりました。先週は夏日や真夏日が観測され、子どもたちの体調が心配でした。

少しずつ暑さに体が慣れていくことを「暑熱順化」といい、その効果は汗をかくことで体温の上昇を防ぎ、暑さに対して楽に過ごせるようになることです。そのことが、熱中症の予防にもつながります。そのためには、汗をかいて体の熱を放出する能力を目覚めさせることが必要だそうです。暑熱順化には7日から10日ほどかかるということなので、学校生活においても体育の授業や運動場での遊びを通して汗をかき、徐々に体を慣れさせていきたいものです。また家での入浴時には、湯船にしっかりとつかって、汗をかくことも効果があるそうです。夏に向けて、子どもたちの体調に気を配りながら、学校生活を送らせていきたいと考えています。

雄大さ・素晴らしさを実感して・・・～日光修学旅行～

6年生が楽しみにしていた日光修学旅行が、5月13日・14日の2日間で行われました。出発時には小雨が降り天気が心配されましたが、埼玉県を過ぎたあたりから雨が止みました。

1日目は、雄大な華厳の滝の見学からスタートし、子どもたちは滝の大きさや流れる水の音に驚きながらも、その素晴らしさを感じていました。その後、三本松跡で記念写真を撮影し、足尾銅山の見学に向かいました。若干の雨に降られましたが、坑道内では江戸・明治・大正・昭和それぞれの時代の厳しい採掘の様子を見学しました。



2日目の朝も雨に降られ、東照宮の見学が心配されましたが、9時に東照宮に入り陽明門前で記念写真を撮影したころからは雨が上がり、天気の心配をすることなく2日目を過ごすことができました。子どもたちは陽明門・三猿・眠り猫などを見て、建築物の素晴らしさを感じると共に、徳川家康の権力の大きさを実感したようです。また鳴き龍の見学では、拍子木の音をたたく場所によって龍の鳴き声に聞こえることに不思議さと感動を味わっていました。

今回の修学旅行は、事前学習を丁寧にしていたこともあり、よりよい学びとなりました。また、見学時の態度や旅館での過ごし方、マナーを守って食事をする姿など、これまで身に付けた力を発揮できた修学旅行となりました。6年生保護者の皆様には、修学旅行に向けて健康管理や持ち物の準備等にご配慮いただきありがとうございました。



大切な命を守るために = 合同引き取り訓練 =

5月2日（火）に、震度5弱の地震が発生したことを想定して、松田町幼・保・小・中合同引き取り訓練が実施されました。当日は日差しが強い日でしたが、昨年度末に完成した運動場で、晴天時の引き取りを行うことができました。保護者の皆様も訓練の趣旨をご理解いただき、ご協力くださったこともあり、おおむね予定どおりに終了することができました。

一方で、実際に震度5弱以上の地震が発生したら、引き渡しにどれくらいの時間がかかるだろうか、天気が雨だったら、季節が冬だったらなど、状況により対応が変わってくることを考えさせられました。東日本大震災の時に津波を受けた宮城県のある小学校では、屋上に一次避難した後、全校児童がヘリコプターで安全な場所へ避難が完了したのは、翌朝だったそうです。

5月5日には石川県で、11日には千葉県で震度5以上の地震が発生しました。南海トラフ地震も心配されます。よく言われる言葉ですが、地震はいつ起こるかわかりません。今回の訓練を生かして、子どもたちの命を守れるよう、これまで以上に安全対策を講じていきたいと考えております。各家庭においても、時間帯や季節等さまざまな地震発生時を想定して、家族一人ひとりの行動について話題にし、大切な命を守る意識を高めてほしいと思います。